

# お地蔵さんに導かれ **プチ** 人生再生コース



～縁切り地蔵から縁結び地蔵まで～



悪い縁を絶ち切って  
新しい縁を結びましょう！

感状山城跡



いわくら 磐座神社



中野薬師堂



縁結び地蔵  
ゴール



かなほり 金掘の地蔵

感状山光専寺



おおむく 大掠の木



とくりきあみだどう 徳力阿弥陀堂



いがき 伊垣神社 (三社荒神社)



ふるさと交流館



うりゅうやつはしら 瓜生八柱神社



しょうとくひ 村長頌徳碑



ふたつき 二木八幡神社



きょうめい 京明地蔵



縁切り地蔵



すかたに 菅谷八幡神社

二木公民館  
スタート

0m 250m 500m





### ① 縁切り地蔵

こうみょうせん  
光明山につづく山道入り口付近の林に縁切り地蔵がある。このお地蔵様は一時所在不明になっていたが、近年参道が整備され縁切りを願う人がお参りするようになった。

### ② 二木八幡神社

ふたつき  
祭神 応神天皇を祀る。  
山上の真言宗正源寺は赤松氏の祈禱寺で境内の八幡神社は光明山城の守護神であった。羽柴秀吉の攻撃で光明山城は落城、正源寺の法灯は消えた。享保年間、森の庄屋小林重宗が願主となって八幡菩薩を現地に奉斎し、社殿を建立した。ご神体の一部に、毘沙門天像をはりつけた懸仏がある。室町時代の作と考えられ、市内唯一の懸仏で、正源寺から八幡神社に伝えられたものである。

### ③ 京明地蔵

えべん えそう  
経読みとか経明ともいわれている。僧恵便・恵聡が字二丁田の縦（もみ）の木の下に庵を結び、お経を読む声が遠くまで聞こえたという。また一説には、経を埋めた所ともいわれる。五輪塔の一部が残っている。

### ④ 山島村長の頌徳碑

しょうとくひ  
矢野村の歴代村長の頌徳碑と山島村長の頌徳碑。二つの村長の頌徳碑は、明治・大正・昭和にわたる矢野村の歴史を語っている。

### ⑤ 菅谷八幡神社

すがたに  
祭神 応神天皇・仁徳天皇を祀る。  
若宮という7月15日に輪越祭があったが今はない。9月1日朔日祭、天皇二人がこの宮に立ち寄ったため盆踊りが盛んになったといわれがある。

### ⑥ 瓜生八柱神社

うりゅうやつはしら  
祭神 国狭槌命 など八柱の神を祀る。  
瓜生は天津神が天下り国津神が住んだところで「化生」の訛音である。以前は八王子神社であったが、今は八柱の神を祀るので八柱神社という。

### ⑦ 金堀の地蔵

かなほり  
建武年間に金を掘り出したので金堀という。昔は村はずれで墓場があり、夜そこを通ると狐が石を投げたという。金堀の道端に地蔵がある。由来は不明だが、村人の信仰は厚く花が絶えることがない。

### ⑧ 大椋の木

おおむく  
樹齢約 600 年といわれ、根回り 4.8 米、高さ 15 米で、昔この地に荒神社があり、御神木として大切に保護されたため残ったといわれている。兵庫県天然記念物に指定されている。

### ⑨ 森・磐座神社

いわくら  
おおくにぬしのみこと うかのみたまのみこと はたのかわかつ  
祭神 大 国 主 命・倉 稻 魂 命・秦河勝を祀る。  
上古は背後の権現山を神体山とし、高座石・座光石・天狗岩を磐座の神とする古社。平安時代には赤穂郡四座の一つ、中世には安産の守護神にして矢野荘の総鎮守の社として崇敬された。明治7年郷社となる。境内には石と県指定文化財のコヤスノキがある。

### ⑩ 徳力阿弥陀堂

とくりきあみだどう  
徳力一族の納骨堂で、阿弥陀如来を安置する。建武の中興のとき、徳力季隆は新田義貞の武将として活躍し、晩年は郷里の中野極楽寺に隠棲した。季隆が没すると、子孫は境内に葬り徳力荒神とした。その後、極楽寺は廃寺となる。

### ⑪ 中野薬師堂

一間四方の堂宇で薬師如来を祀っている。側に説教場があり今は集会所となっている。

### ⑫ 伊垣神社（三社荒神社）

明治41年、中才元の火魂神社・上才元の伊垣神社・上徳力の徳力明神を森の磐座神社に合祀した。昭和10年、現在地に社殿を新築して三神社の神霊を還迎した。

### ⑬ 市立ふるさと交流館

昭和41年、才元小学校は矢野小学校に編入合併した。校舎は、市立野外センターとして使用され、その後建て替えられ市立ふるさと交流館になる。

### ⑭ 縁結び地蔵

古文書に榊に縁結び地蔵があったという記載がある。もとは今ある場所の上の山中にあったが、道路の拡幅にとまな現在地に移った。